

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 TEL 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

新年に寄せて

校長 吉田 直美

保護者の皆様、地域の皆さま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月23日の終業式において校長の話の中で、「なりたい自分」について子供たちに話をしました。そのために事前に私が数名の教職員にインタビューをしたところ、「笑顔で過ごしたい」「テニスと読書の文武両道」「学校のプールで大好きなペンギンを飼ってみたい」「大きな魚を釣り上げたい」など、夢や希望を語ってくれました。子供たちに教職員へのインタビュー内容を伝えた後、「なりたい自分を明確にすることを、大人の言葉では『目標』といいます」と確認し、なりたい自分がどんな自分かを改めて考えてみることを提案しました。目標というと、抽象的な印象がありますが、なりたい自分という風に言葉を置き変えると意外と具体的な姿が想像できるものです。222人の稲越っ子がこんな自分になりたいと、夢と希望に胸を膨らませてくれるよう、教職員一同、しっかりと支援、助言、指導していきます。

「課題は伸びしろ」「課題は希望」

よく言われるのが「成果と課題」。一般的には、成果は実践した結果よかったこと、課題は問題点ととらえます。プラスとマイナスという印象でしょうか。ですが私は「課題」がない実践は残念な実践であるととらえています。どんな実践にも課題はあります。たとえば言うなら世界記録保持者にも課題があり、あるからこそ次への挑戦に進んでいくのでしよう。課題は伸びしろであり、希望です。課題を明確にすることでその解決や改善のために力を尽くすことができるのだと考えます。教育の場はまさにそれです。課題は当たり前でむしろ必要なことととらえ、子供たちの課題を一緒に解決していきたいと思えます。

1 月 の 主 な 行 事 予 定

6日(金) 3学期始業式
 10日(火) 登校指導 給食開始
 全学年身体測定
 11日(水) 定例研 短縮4校時
 13:30下校
 12日(木) 3~6年書初め大会
 生活リズムチェック週間
 (~19日)
 16日(月) 学校訪問 4校時特別日課
 13:20下校
 17日(火) 下校指導

24日(火) 6年 租税教室
 25日(水) 委員会活動⑨
 26日(木) 校内百人一首大会
 (ぽかぽかタイム)
 27日(金) 5年 校外学習
 スクールカウンセラー来校日
 31日(火) 1年 昔遊び体験



消防局職員から ほめてもらったよ ～命はなまる！第2回避難訓練～

11月18日（金）、小学部との合同避難訓練がありました。校庭に避難した後、4～6年生及び小学部の代表児童が、水消火器を使った消火訓練も実施しました。

訓練後、来校して今回の避難訓練にご協力いただいた消防署の方と話をしました。その方は、訓練を知らせる第一報を聞いた子供たちが真剣な表情だったこと、教頭の放送内容が明確でわかりやすかったこと、誰一人としてふざけた気持ちで避難した児童がいなかったこと、校庭に集まった時も真剣さが継続できていたことなどを挙げ、児童の避難訓練に取り組む姿勢を誉めてくださいました。そして、「これなら稲越小学校の子供たちは、大丈夫だ」と確信したそうです。

私も、校庭に集まった子供たちに次のような話をしました。

- ①自分の命は自分で守ること。
だから今日のような訓練が必要であること
- ②しかし、それには限界があること。
- ③だからこそ、消防署の方に命を守るお手伝いをしてもらうこと
- ④そのために消防署の皆さんは、毎日訓練や点検をしてくださっていること。



話した後で、児童全員で消防署の方に「ありがとうございます」とお礼を言いました。消防署の方4名全員が、子供たちに深々と一礼してくださり、その姿から子供たちも何かを感じ取ってくれていたらいいなと思いました。

これぞ 道徳！

とある日の5時間目、5年生が道徳をやっていたのですが、思わずその内容に惹かれ、最後まで授業を見せてもらいました。

黒板には、「うそを 解く！」と今日の学習のテーマが書かれており、嘘をつくことについて、非常に深い話し合いが持たれていました。特に「ついてもいい嘘はあるのか」に関する意見のやり取りをしていた場面では、さすが5年生と感心する話しぶりで、それぞれが日常生活で感じている嘘について、その状況や相手に応じてどのように判断したらよいものなのか、真剣に話し合っていました。

最後に担任が、「今日の話し合いの答えは、先生にはまとめられません。だから、みんなが一人一人、今考えていることをノートに書いてくださいね。今日はそれをまとめとしましょう」と投げかけていました。子供が自分で答えを見出す素敵な授業でした。私も自分の考えを書き、5年担任に提出しました。